

運動部活動の地域移行に係る協議会（第1回）および文化部活動の地域移行に係る協議会（第1回）の報告について

1 運動部活動の地域移行に係る協議会（第1回）について

(1) 目的

品川区立学校における運動部活動の地域移行のあり方等を総合的に検討する。

(2) 委員

校長、保護者、地域の方、スポーツ協会、スポーツ団体および関係部署 計17名

(3) 日時・場所

令和5年8月29日（火） 午前10時から午前11時30分まで

(4) 場所

品川区役所第2庁舎5階253会議室

(5) 報告および協議事項

ア 報告

「品川区における部活動の地域移行に向けたロードマップ」について

イ 協議

- (ア) 実証事業（ホッケー・ラグビー・ダンス・バドミントン）における活動内容等（案）について
- (イ) 改革推進期間（令和5年度～令和7年度）における目指す部活動体制（案）について

(6) 主な意見

- ・ 子どもや教員、校区教育協働委員会においてヒアリングしていることがよい。周辺自治体とも情報共有していくことが大切である。
- ・ 学校には、部活動の指導をしたい教員もいれば、放課後の時間を授業の準備に充てたいと考える教員もおり、様々である。
- ・ 部活動指導員や指導者を委託する際は、スポーツに熟知しているだけでなく、子どもたちの気持ちなどを理解して指導してもらうことが大切である。
- ・ 学校としては、部活動の指導に協力いただける地域の方を人材バンクのような形でまとめられるとよい。
- ・ 保護者としては、指導をしたい教員や部活動指導員なども十分連携して、子どもたちにとって充実した活動となるようにすることが大切だと思う。
- ・ 品川区には4つの地域スポーツクラブがあり、多くの種目の指導者がいることから、協力できる指導者がいるので、協力依頼をしてはどうか。
- ・ 品川コミュニティ・スクールを生かして、様々な大人と一緒に子どもたちを育てていくことが大切である。
- ・ 学校部活動の地域移行と地域部活動の設置は、それぞれ目的が異なる部分があるため、課題を整理していく必要がある。

(7) 決定事項

- ・ 学校部活動は、子どもたちがニーズに応じた活動をしたり、指導を受けたりできるよう専門性のある指導者を確保しつつも、指導を望まない教員が従事しなくてもよい体制の実現を目指す。
- ・ 新たな活動機会を創出する実証事業をスポーツ団体等が運営主体となる新たな地域での部活動として行う。学校部活動にはない種目であり、品川区に強みのあるホッケー、ラグビーにて実施する。
- ・ 民間委託の導入についての実証事業を地域での部活動として行う。子どもの参加希望が多く、既存の学校部活動において専門的指導者が少ないダンス、バドミントンにて実施する。

2 文化部活動の地域移行に係る協議会（第1回）について

(1) 目的

品川区立学校における文化部活動の地域移行のあり方等を総合的に検討する。

(2) 委員

校長、保護者、地域の方、文化芸術団体および関係部署 計 16 名

(3) 日時・場所

令和5年10月27日（金） 午前11時から正午まで

(4) 場所

品川区役所第2庁舎8階教育委員室

(5) 報告、情報交換および協議事項

ア 報告

「品川区における部活動の地域移行に向けたロードマップ」について

イ 情報交換

地域における文化芸術活動の状況、地域の専門性のある指導者等について

ウ 協議

改革推進機関（令和5年度～令和7年度）にける目指す部活動体制（案）について

(6) 主な意見

- ・ 学校としては、部活動に協力いただける地域の指導者を探すのが難しい現状がある。
- ・ 学校としては、部活動に協力いただける方について、技術指導だけでなく、人柄も大切にしている。
- ・ 地域には、自身の趣味の方からプロフェッショナルまで様々な方がいる。学校のニーズについての情報が詳細にあると地域の人材と学校のニーズにあった人材が合わせられる可能性があると思う。
- ・ 大会を目指している部、家元制がある部、志を一緒にした人たちが輪を作って取り組むことが楽しい部などで求められる指導者は異なっており、分けて考えた方がよいと思う。
- ・ 外部の指導者の謝礼だけで生活することは難しいため、協力していただける方は限られるため、構造的なところも考えないといけないと思う。
- ・ これまで学校部活動における外部指導者を探してきた際、費用面や活動日がネックになることがあった。
- ・ 地域の指導者の発掘について、生徒のニーズや求める人材を絞るなど、条件整備をすることが必要である。
- ・ 文化センターで活動している方々でご協力いただける方はいるのではないかと思います。また、その活動を通して、ある程度、学校のニーズとあっているか見極められるのではないかと思います。
- ・ 学校の部活動の地域移行を進めていった際、子どもたちの活動する際のニーズが拾えなくなってしまうようにすることが大切だと思う。
- ・ 外部の指導者において、部活動における生徒間トラブルを見逃さずに対応できるようにすることが必要である。
- ・ 専門性のある指導者が限られている場合は、合同文化部のような形で行う方法もあると思う。
- ・ 部活動の地域移行に関して、保護者に広報する仕方についても検討していく必要がある。

(7) 決定事項

- ・ 教育委員会で、関係部署と連携し、人材リストを作る。
- ・ 文化部活動においても、学校部活動は、子どもたちのニーズに応じた活動機会の確保、学校の働き方改革の推進を目指す。

品川区立中学校、義務教育学校における生徒会長ヒアリングの結果について
(令和5年7月実施)

1 目的

品川区立学校における部活動の地域連携・地域移行について、活動の主体である子どもたちの思いや考えを踏まえ、子どもたちの多様なニーズに応じた活動機会を創出していくため。

2 対象

品川区立各中学校および各義務教育学校の生徒会長15名（女子8名 男子7名）

3 ヒアリング結果

(1) 学校の部活動を地域に移行することについて、どう思うか。

【肯定的】

- ・学校ではできない部活動があるので魅力がある。7
- ・他の学校の生徒がいることで刺激を受け、成長につながるのよい。4
- ・学校には経験のない先生がいるので、専門の方に教えてもらうよさがある。2
- ・生徒が主体となっていればどちらでも良い。部内の絆やチームワークが大切である。
- ・卒業してからも継続して取り組めるのがよい。地域の人ともつながりができるのがよい。
- ・部活動の関係を授業に持ち込むこともあったのでそれがなくなるのは良い。

【課題】

- ・普段の日常を把握している教員がいた方が安心する。4
- ・学校の選択理由や友達ができる場にもなるので、地域連携ならよい。3

(2) 運動部について、部活動にない競技、一部ある競技での委託に考えているが、どう思うか。

- ・学校にない部活は、取り組みたい人の機会が増えるのよい。10
- ・技術的に専門の人に教えてもらえると思うので、よいと思う。2
- ・合同で部活動をやることになった時に人間関係で、負けやミスした時が心配。
- ・生徒会長として、実際に部員の不足、指導できる教員不足でできないことがあるのよい。

(3) 部活動の地域移行について、品川区や品川区教育委員会への期待や配慮してほしいこと。

- ・場所が遠くならないように。時間も遅くならないようにしてほしい。7
- ・お金の面で今の部活と同じようにあまりかからないようにしてほしい。5
- ・快適にできる環境（設備の充実、広い場所、温かいプール等）を確保してほしい。4
- ・平日は学校で先生に教えてもらって、休日は学校外で専門の先生に教えてもらうのがよい。4
- ・勝つことを目指すチームと楽しく行うチームなど、両方のチームがあるとよい。2
- ・ゲームの時間や大会などの活躍の場の確保してほしい。2
- ・専門的な知識や技術がある人をお願いしたい。2
- ・人間関係（大人や子ども）が広がるような環境を期待したい。2
- ・地域別にコーチをつける場合にレベルを同じにしてほしい。
- ・指導者が技術面だけでなく、学校の実情を理解し、尊敬できる人を期待する。
- ・地域連携については、指導者同士が言うことが違うと困るので、連携をよくとってほしい。
- ・合同練習をした時に、他校の生徒の距離感がわからないので、事前に話す時間等あれば良い。
- ・今活動している団体の機会を奪わないようにしてほしい。

(4) 学校の部活動の地域移行について話し合う会議に参加を希望しますか。

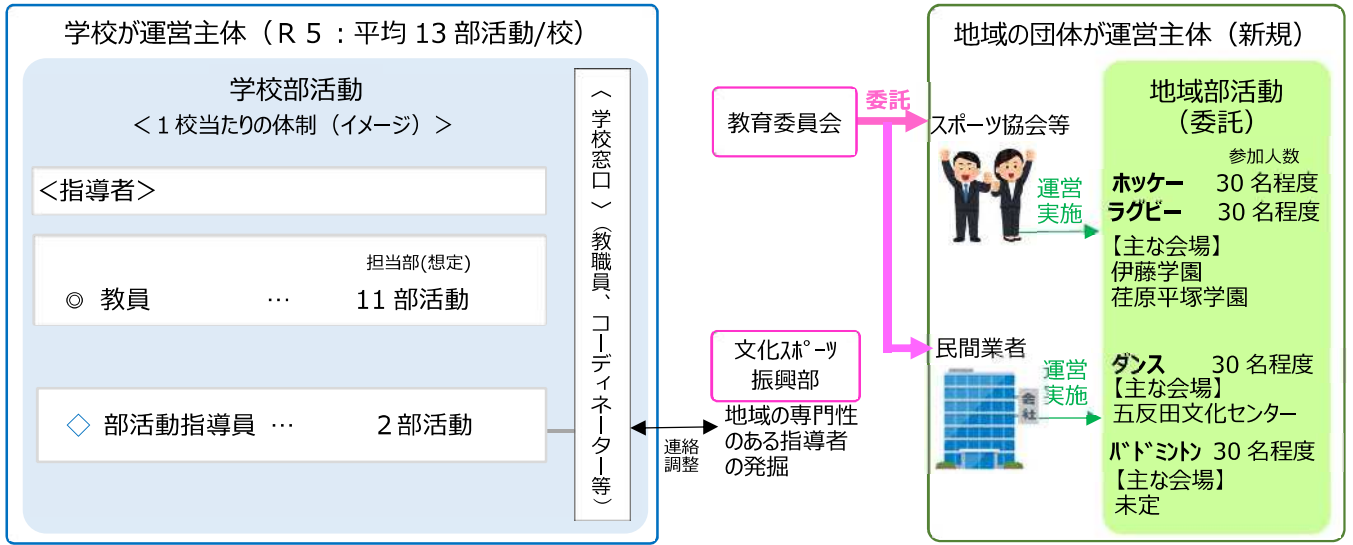
- ・参加したい。10
- ・参加は難しい。5

4 まとめ

学校にはない部活動を地域で取り組めることが魅力であるという声が多かった。地域で行う場合は、場所や設備面、費用面、指導内容、指導者の専門性・人間性について配慮してほしいという声が多かった、一部、関係性がある教員の指導の方が安心であるという声もあった。

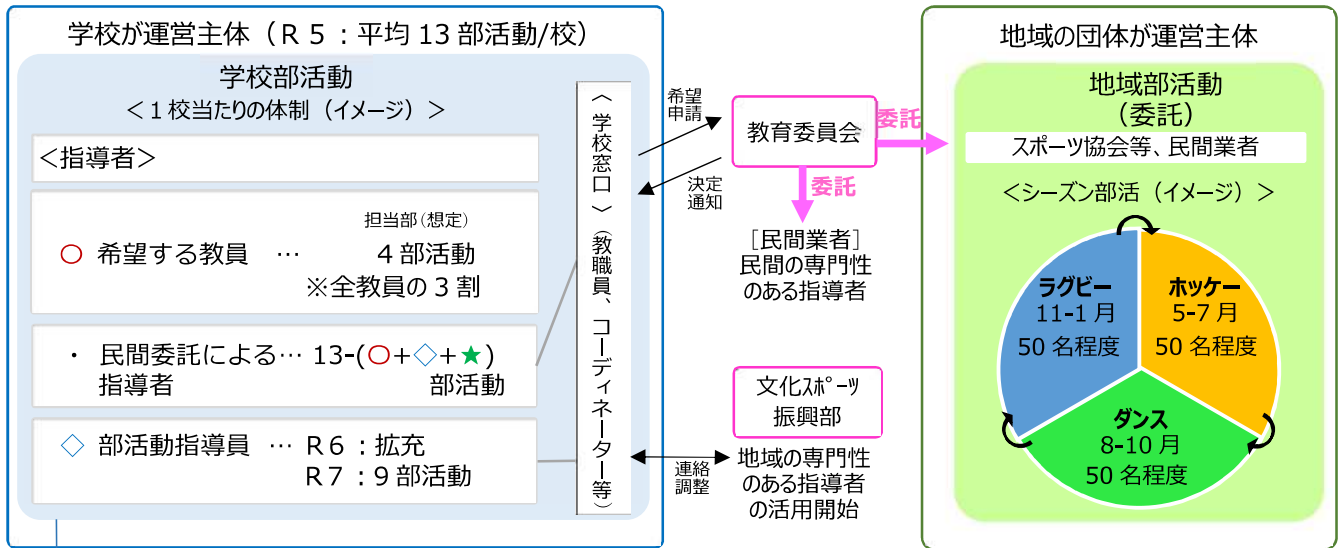
改革推進期間（令和5年度～令和7年度）における目指す部活動体制（案）

令和5年度



「品川区立学校 部活動の在り方に関する方針」令和6年3月改訂（予定）

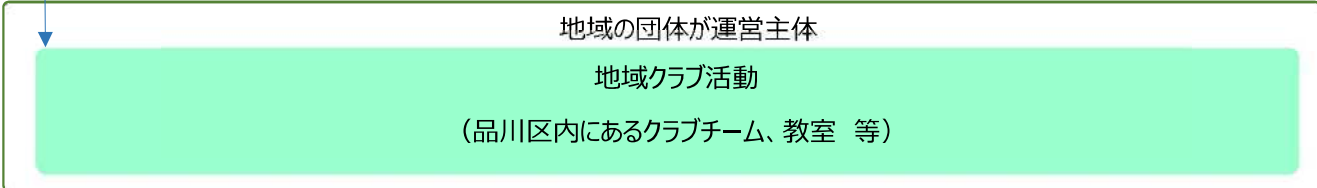
令和6年度・令和7年度



★ 各校の実態に応じて、学校部活動を地域クラブ活動へ移行

[解決すべき課題]

- ・ 部活動指導員の確保
- ・ 指導者の育成
- ・ 合同部活動の推進
- ・ 指導を望まない教員が従事しなくてもよい体制の構築
- ・ 地域部活動の活動場所の確保
- ・ 地域部活動の活動費の金額設定（困窮世帯への支援の検討を含む）
- ・ 地域部活動の事故発生時の連絡体制の新整備
- など



「品川区立学校 部活動の在り方に関する方針」令和8年3月改訂（予定）

実証事業① 新規地域部活動の導入について

1 ホッケーについて

ホッケーは品川区の東京オリンピック・パラリンピックの開催種目になった。平成27年度以降から「ホッケータウンしながわ」となるようスポーツ教室をはじめ地域での機運醸成をおこなってきた。現在もレガシーとしてホッケー普及を進めている競技である。

- ・中学校のホッケー部 部活動について
- ・男子81チーム 女子71チーム 男子886名 女子665名 日本ホッケー協会より（令和5年4月現在）
品川区の児童・生徒のホッケーの人口
- ・しながわホッケークラブ2020に所属している児童・生徒は約50名。
- ・品川区内にて活動しているホッケークラブ（フリークス東京U-15）に所属。
中学7年生（男）4名（女）3名 中学8年生（男）4名（女）0名 中学9年生（男）1名（女）3名
- ・令和4年度の6月にホッケー教室を区内で開催
（小学生/中学生の応募は、約45名程 実際に参加は小学生約24名）
令和4年3月6日（日） 第1回U-10ホッケー品川カップ 交流ミニゲーム大会を開催
令和5年3月19日（日） 第2回U-10ホッケー品川カップ 交流ミニゲーム大会を開催
*全部で10チームが参加。（品川区6チーム、世田谷区1チーム、静岡1チーム、山梨2チーム）約70名程度
品川区内にあるクラブチーム
- ・バキラホッケースクール（品川）・しながわホッケークラブ2020（品川）・大井ホッケースクール（品川）

メリット

品川区の独自部活動としてすそ野を広げる。他県とも交流を可能となる。全国的にもめずらしくこれまでにない種目になるため、効果的である。品川としての強みがあるため。小学校で活動してきた子ども達が引き続き中学校でも活動できるようになる。

2 ラグビーについて

品川区には小学生向けのラグビースクールがあり、また、城南地区で積極的に東京ガスの社会人チームがラグビーの普及に努めている。運営を予定している品川区ラグビーフットボール協会は令和5年3月に一般社団法人としてたちあげプロコーチ育成の体制を整えおり、指導方法の工夫に力を入れている現状がある。

- ・中学校のラグビー部 部活動について
中体連の登録101校 個人登録2154名 関東ラグビーフットボール協会より（令和4年3月現在）
- ・品川区の児童・生徒のラグビーの人口
120～130名（1年生～6年生） 20～30名（7年生～9年生）
- ・品川区内にあるクラブチーム
- ・しながわバンブーラグビークラブ（2001年設立） ・JR東日本ラグビー部 レールウェイズ（社会人）
- ・都立小山台高校（高校）

メリット

品川区には、地域密着型でラグビーの楽しさや豊かさを満喫できる環境がある。地域に社会人チームもあり、将来、子ども達が地域ラグビーに親しめる環境もある。品川区には、地域移行の受け皿として適している。子ども達にとっても他のスポーツと比べても運動量に負荷があり、体力が必要とされるので、心身ともに鍛えられ、また、ラグビーの有名な言葉である「One for All, All for One」の精神やコミュニケーション能力やチームワーク力が自然と身に付けられる。

実証事業② 民間委託の導入について

1 部活動や地域でのスポーツ・文化活動に関するアンケートについて

実施 令和4年9月 対象 第7学年 生徒188名および第8学年 生徒238名

Q. どのような種目の活動があればやってみたいですか。

第1位：eスポーツ 第2位：バドミントン 第3位：水泳 第4位：ダンス

2 令和4年度 部活動状況（「令和4年度部活動実施状況に関する調査について」より）

バドミントン部（区内部員数：315名）

学校名	男子	女子	計	部活動指導員	平日	休日
大崎中学校	20	27	47	無	4日	1日
鈴ヶ森中学校	16	31	47	無	3日	1日
富士見台中学校	6	28	34	無	4日	1日
荏原第一中学校	5	31	36	無	3日	1日
荏原第五中学校	0	35	35	有（1名）	2日	1日
日野学園	13	15	28	無	3日	1日
伊藤学園	17	27	44	無	3日	1日
八潮学園	6	21	27	無	3日	1日
荏原平塚学園	9	8	17	無	3日	1日

水泳部（区内部員数：63名）

学校名	男子	女子	計	部活動指導員	平日	休日
大崎中学校	0	0	0	無	0日	0日
鈴ヶ森中学校	2	0	2	無	1日	1日
戸越台中学校	10	9	19	無	2日	1日
伊藤学園	13	9	22	無	3日	1日
品川学園	9	11	20	無	3日	1日

ダンス部（区内部員数：120名）

学校名	男子	女子	計	部活動指導員	平日	休日
荏原第六中学校	0	26	26	無	3日	季節限定等
日野学園	3	22	25	無	4日	0日
伊藤学園	0	39	39	無	3日	0日
八潮学園	0	4	4	無	1日	0日
豊葉の杜学園	0	26	26	無	3日	0日

3 まとめ

○バドミントン

「部活動や地域でのスポーツ・文化活動に関するアンケート」において活動をしたい部活動の2位と希望者が多い。また、部活に所属をしても比較的参加がしやすいと考える。サイドスポーツ的に実施をし、民間の研究をしていくのがよいと考える。

○ダンス

令和4年度スポーツ推進課主催の「プロが教えるダンス教室」に41名の参加があった。参加者アンケートでは、満足度について「満足」「やや満足」と肯定的な回答が100%であった。感想には、「機会があればまた参加したい」「教え方が丁寧で分かりやすかった」「新しく友だちもできたため、参加してよかった」等があった。部活動では、部活動指導員のような専門的な指導者がいないことや休日に活動がないことから、専門的な指導者がいるとよいと考える。

文化部活動の種類および部活動指導員や外部指導者が配置されていない文化部活動について

No.	種類	部活動数	部活動指導員または外部指導者が配置されていない部活動数		
				部活動指導員あり	外部指導者あり
1	吹奏楽	15	4	3	10
2	合唱	1	1	-	-
3	美術	14	12	-	2
4	演劇	5	4	-	1
5	家庭	2	2	-	-
6	料理	3	2	-	1
7	パソコン	6	6	-	-
8	文芸	1	1	-	-
9	書道	2	1	-	1
10	茶道	3	-	-	3
11	華道	4	-	-	4
12	茶道・華道	1	-	-	1
13	将棋	2	2	-	-
14	囲碁・将棋	2	2	-	-
15	科学	1	1	-	-
16	理科	1	1	-	-
17	英語	1	1	-	-
18	珠算	1	1	-	-
19	百人一首	2	2	-	-
20	ボランティア	2	2	-	-
21	園芸	2	2	-	-
22	総合文化	1	1	-	-
23	鉄道研究	1	1	-	-
24	ペン習字	1	1	-	-
25	創作	1	1	-	-
26	伝統文化	1	-	-	1
27	日本文化	1	1	-	-
28	数学	1	1	-	-
29	雅楽	1	-	-	1
30	地域活動	1	1	-	-

令和5年8月現在